

中学校 第1学年 外国語 Unit 7 Foreign Artists in Japan

(東京書籍 NEW HORIZON English Course 1)


○単元の目標




A L Tに日本で活躍する外国人を紹介するために、日本の伝統芸能や伝統工芸、そこに携わる外国人について情報を集め、事実や考えを整理し、まとまりのある内容を話すことができる。

○探究の過程

①課題の設定	「日本の伝統芸能や伝統工芸を仕事にしている外国人について知りたい」というA L Tの依頼を設定場面とする。小学校での学習を想起しながら、「知りたいこと」や「疑問」を書き出し、単元の学習について関心を持つ。
②情報の収集	日本の伝統芸能や伝統工芸を仕事にしている外国人を紹介するために、「知りたいこと」や「疑問」について情報を集める。また、紹介したい人物について、必要な情報を集める。
③整理・分析	集めた情報を整理し、伝えたい内容の順番を考える。
④まとめ・表現	聞き手に分かりやすい表現を考える。

○単元計画（8時間扱い）

時	目標	学習活動	探究の過程
1	単元目標を理解し、目的意識や課題意識を持って学習に取り組むことができる。	【本単元のゴールを知る】 ・本単元の目標と学習内容を知る。 【日本の伝統芸能や伝統工芸を知る】 ・日本の伝統芸能や伝統工芸について、職業と仕事内容について、英語の表現を知る。 【課題の設定】 ・日本の伝統芸能や伝統工芸を仕事にしている外国人を紹介するために、小学校での学習を想起しながら、「知りたいこと」や「疑問」を書き出し、単元の学習に関心を持つ。	① 
2	日本の伝統芸能や伝統工芸に取り組む外国人の紹介文を読むことを通して、紹介文の構成を理解することができる。	【文法事項の理解】 ・代名詞（目的格）の使い方を理解する。 【新出語句の理解】 ・発音と意味を確認する。 【本文内容の理解】 ・紹介文の構成を理解する。 （紹介文を構成する要素：名前、出身地、職業、読み手への問い掛け、自分の気持ち等）	
3	外国人の落語家に関する対話文を読むことを通して、落語の特徴を理解することができる。	【文法事項の理解】 ・疑問詞 which の使い方を理解する。 【新出語句の理解】 ・発音と意味を確認する。 【本文内容の理解】 ・落語や落語家の特徴を理解する。 ・内容を踏まえて、強弱やイントネーションに気を付けて音読する。	
4	どちらの食べ物がほしかについて尋ねる場面で、やり取りをすることができる。	【既習事項を用いたやり取り】 ・ある人物になりきって、欲しい食べ物についてペアでやり取りをする。 ・やり取りした対話文を書き、既習の文法事項の理解を深める。	

5	落語の公演会場での対話文を読むことを通して、落語の歴史を理解することができる。	【文法事項の理解】 ・疑問詞 Whose の使い方とその答え方を理解する。 【新出語句の理解】 ・発音と意味を確認する。 【本文内容の理解】 ・落語の歴史を理解する。 ・内容を踏まえて、強弱やイントネーションに気を付けて音読する。	
6	日本の伝統芸能や伝統工芸を仕事にしている外国人を紹介するために、必要な情報を集めることができる。	【必要な情報を集める】 ・第1時で立てた「知りたいこと」や「疑問」について情報を集める。 ・紹介したい人物について、必要な情報を集める。	② 
7	日本の伝統芸能や伝統工芸を仕事にしている外国人を紹介するために、集めた情報を整理し、紹介文を書くことができる。	【情報の整理と内容の検討】 ・集めた情報を整理し、伝えたい内容の順番を考える。	③ 
8	ALTに日本の伝統芸能や伝統工芸を仕事にしている外国人を紹介することができる。	【教師のモデル文を聞く】 ・聞き手に分かりやすい表現を考える。	④ 

第1学年 外国語科学習指導案(第1時)

【①課題の設定 体験から疑問や関心を引き出しタイ】


1 単元名「Unit 7 Foreign Artists in Japan」(東京書籍 NEW HORIZON English Course 1)

2 本時の計画

目標	単元目標を理解し、目的意識や課題意識を持って学習に取り組むことができる。
探究の過程 課題の設定	「日本の伝統芸能や伝統工芸を仕事にしている外国人について知りたい」というALTの依頼を設定場面とする。小学校での学習を想起しながら、「知りたいこと」や「疑問」を書き出し、単元の学習について関心を持つ。

○指導過程

段階	学習活動 ○主な発問・指示 ◆予想される生徒の反応	形態	◎指導上の留意点	
			T 1	T 2 (ALT)
導入 10分	1 挨拶をする。 2 ALTの話聞き、内容を理解する。 ○1回目：ALTがクイズを出します。誰についてクイズを出しているでしょうか。 ◆英語と日本語を話す人は誰だろう。 ◆座布団や扇子と言っている。落語家の人かな。 ◆落語家の女性についてかな。 ○2回目：ALTがみなさんをお願いします。どんなことでしょうか。 ◆cultureの意味は何だろう。 ◆foreignの意味は何だろう。 ◆日本の伝統を仕事にしている外国人を知りたい。	一斉 一斉	◎ALTが話したことを繰り返したり、質問したりして、生徒の理解を助ける。	◎既習表現を使い、体調、日付、曜日、天気を尋ねる。
			I have a quiz today. Who is she? Hint 1: She is from U.K. Hint 2: She lives in Osaka, Japan. Hint 3: She speaks English, but she sometimes speaks Japanese at work. Hint 4: She always wears kimono at work. Hint 5: She sits on a cushion and uses a fan at work. Hint 6: She likes to tell us a funny story.	◎スライドを使い、生徒とやり取りをしながら話す。 ◎小学校で学習した日本で活躍する外国人を取り上げ、本時の学習に関心を持たせる。
展開 35分	3 本単元の目標を知る。	一斉	◎単元のゴールのイメージを持たせる。	
			So, now there are many foreign people who live and work in Japan. And they love Japanese culture. So, I want to know more about people working in Japan. Please give me some ideas!	
ALTに日本の伝統芸能や伝統工芸を仕事にしている外国人を紹介しよう。				

4 本時のめあてを知る。	一斉	◎めあてを示し、本時の学習の見通しを持たせる。	
日本で活躍する外国人を紹介するために、「知りたいこと」や「疑問」を書き出そう。			
<p>5 日本の伝統芸能や伝統工芸について対話をする。</p> <p>○イラストの人物について、職業と仕事内容を英語で伝え合いましょう。</p> <p>6 単元の目標に向けて課題を捉える。</p> <p>○日本で活躍する外国人を紹介するために、「知りたいこと」や「疑問」をワークシートに書き出しましょう。</p> <p>◆日本の伝統は他にあるかな。</p> <p>◆小学校で、木版画職人をしている外国人について勉強した。名前はどのような人だったかな。</p> <p>◆紹介文では、どんな情報を入れたらいいんだろう。</p> <p>○お互いにどのようなことを書いたか、課題を共有しましょう。</p> <p>◆ALTが好きなジャンルを知りたいと書いてある。</p> <p>◆紹介文の書き方は、私も知りたい。何を書いたらいいんだろう。</p>	<p>一斉 ↓ ペア</p> <p>個別</p> <p>↓</p> <p>グループ</p>	<p>◎代表的な職業と内容について、英語で問答する。</p> <p>◎始めに全体で例に取り組み、ペア活動がスムーズに進むようにする。</p> <p>課題の設定 </p> <p>◎興味を持って学習に取り組めるように、単元目標に向かって、「知りたいこと」や「疑問」を書き出し、課題として捉えさせる。</p> <p>◎日本の伝統芸能や伝統工芸等だけでなく、紹介文作成に当たって、知りたいことを書いてもよいことを伝える。</p> <p>◎グループから全体で考えを共有させることで、新たな視点に気付かせる。</p>	◎机間指導を行い、英語の言い方に困っている生徒に声を掛ける。
<p>終結 5分</p> <p>7 振り返りを行う。</p> <p>○今日の学習を振り返りましょう。また、次の時間学びたいことをワークシートに書きましょう。</p> <p>8 挨拶をする。</p>	個別	◎次時の学習内容を伝える。	◎生徒の学習の様子でよかった点を伝える。 ◎生徒の発表を楽しみにしていることを伝える。

Unit 7 Foreign Artists in Japan

※振り返りワークシートの例

Class 1 - ()	No. ()	Name
---------------	---------	------

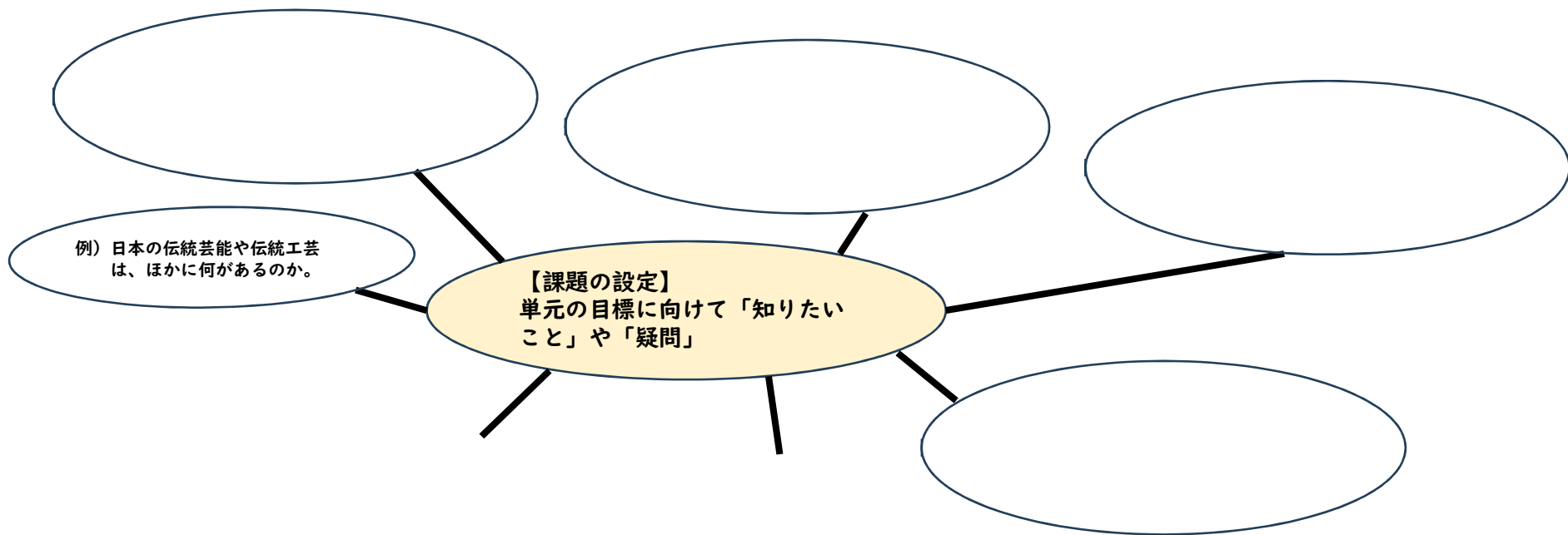
Unit Goal : ALTに日本の伝統芸能や伝統工芸を仕事にしている外国人を紹介しよう

	Today's Goal	振り返り
1	単元の目標に向けて、「知りたいこと」や「疑問」を書き出すことができる。	
2	日本の伝統芸能や伝統工芸に取り組む外国人の紹介文を読むことを通して、紹介文の構成を理解する。	
3	外国人の落語家に関する対話文を読むことを通して、落語の特徴を理解する。	
4	どちらの食べ物がほしいかについてたずねる場面で、学んだ表現を用いてやり取りできる。	
5	落語の公演会場での対話文を読むことを通して、落語の歴史を理解する。	
6	日本の伝統芸能や伝統工芸を仕事にしている外国人を紹介するために、必要な情報を集めることができる。	
7	日本の伝統芸能や伝統工芸を仕事にしている外国人を紹介するために、集めた情報を整理し、紹介文を書くことができる。	
8	ALTに日本の伝統芸能や伝統工芸を仕事にしている外国人を紹介できる。	

Unit 7 Foreign Artists in Japan

Class 1 - ()	No. ()	Name
---------------	------------	------

Unit Goal : ALTに日本の伝統芸能や伝統工芸を仕事にしている外国人を紹介しよう



※第1時ワークシートの記入例

第1学年 外国語科学習指導案(第6時)

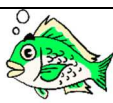
【②情報の収集 課題解決に必要な情報を集めさせたい】


1 単元名「Unit 7 Foreign Artists in Japan」(東京書籍 NEW HORIZON English Course 1)

2 本時の計画

目標	日本の伝統芸能や伝統工芸を仕事にしている外国人を紹介するために、必要な情報を集めることができる。
探究の過程 情報の収集	日本の伝統芸能や伝統工芸を仕事にしている外国人を紹介するために、「知りたいこと」や「疑問」について情報を集める。また、紹介したい人物について、必要な情報を集める。

○指導過程

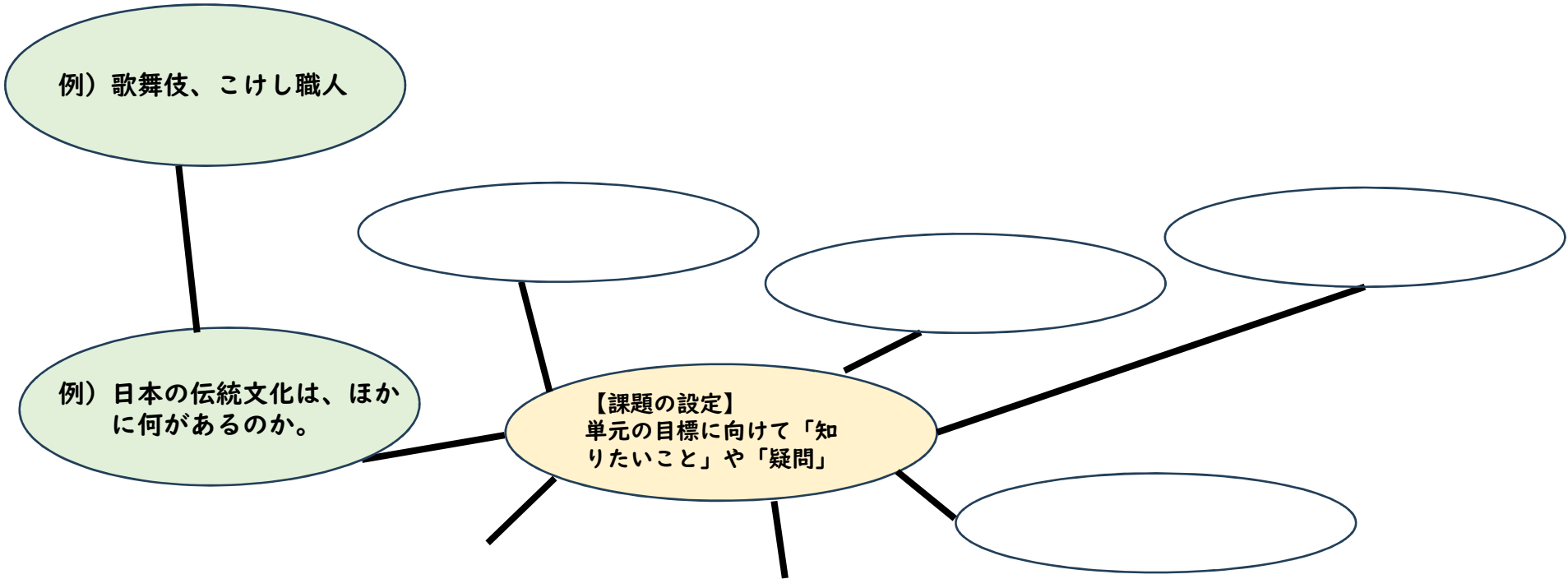
段階	学習活動 ○主な発問・指示 ◆予想される生徒の反応	形態	◎指導上の留意点	
			T1	T2 (ALT)
導入 7分	1 挨拶をする。	一斉		◎既習表現を使い、体調、日付、曜日、天気を尋ねる。
	2 前時の復習を行う。 ○交互に役割を代えて、質問し合みましょう。	ペア	◎ペア活動の前に質問の仕方を確認させる。 ◎紹介文作成に活用できる表現を中心に復習させる。	◎質問の仕方を発音する。 ◎発音の仕方に困っている生徒を支援する。
	3 本時のめあてを知る。	一斉	◎めあてを示し、本時の学習の見通しを持たせる。	
日本の伝統芸能や伝統工芸を仕事にしている外国人を紹介するために、必要な情報を集めよう。				
展開 40分	4 「知りたいこと」や「疑問」について情報を集め、第1時で活用したワークシートに記入する。 ◆小学校で使った資料にも情報が載っている。 ◆英文を参考にして、紹介文に必要な情報を取り出そう。 5 紹介したい外国人を決める。 ○集めた情報から紹介したい外国人を決めましょう。	個別 個別	情報の収集  ◎どのように調べたらよいか、活動が滞っている生徒には、「何を知りたいか」具体的に尋ねて、活動を支援する。 ◎生徒の興味や関心のある日本の伝統芸能等から、その分野で活躍する外国人を選んでよいことを伝える。	◎インターネットの使い方に困っている生徒を支援する。

	<p>6 紹介したい人物について必要な情報を確認する。</p> <p>○人を紹介するために、どのような情報が必要でしょうか。</p> <p>◆名前 ◆職業 ◆仕事の内容 ◆伝統文化の歴史</p> <p>7 紹介したい人物に関する必要な情報を集める。</p> <p>○紹介したい人物の情報を集めて、ワークシートに書きましょう。</p> <p>◆紹介したい外国人が活動しているお店の場所を情報に加えよう。</p> <p>8 グループで情報を交換する。</p> <p>○共通する情報や自分が入力していない情報を見付けましょう。</p> <p>○参考になった情報はメモを取りましょう。</p> <p>◆お店の営業時間が書いてある。 ◆家族構成について書いてある。 ◆住んでいる町について書いてある。</p>	<p>一斉</p> <p>個別</p> <p>グループ</p>	<p>◎これまでの学習を振り返り、必要な情報を想起させる。</p> <p>◎生徒の発言を板書する。</p> <p>情報の収集 </p> <p>◎学習活動6で確認した項目に加えて、他の情報を付け加えてもよいことを伝える。</p> <p>◎他と共有させることで、新たな情報の視点に気付かせる。</p> <p>◎机間指導をしながら、全体で共有させたい生徒の考えを発表させる。</p>	<p>◎インターネットの使い方に困っている生徒を支援する。</p>
<p>終 結 3 分</p>	<p>9 振り返りを行う。</p> <p>○今日の学習を振り返りましょう。また、次の時間学びたいことをワークシートに書きましょう。</p> <p>10 挨拶をする。</p>	<p>個別</p>	<p>◎めあてに沿った振り返りをさせる。</p> <p>◎次時の学習内容を伝える。</p>	<p>◎スペルや語順に気を付けて、英語で書くように声を掛ける。</p>

Unit 7 Foreign Artists in Japan

Class 1 - ()	No. ()	Name
---------------	------------	------

Unit Goal : ALTに日本の伝統芸能や伝統工芸を仕事にしている外国人を紹介しよう



※第6時ワークシートの記入例

Unit 7 Foreign Artists in Japan

Class 1 - ()	No. ()	Name
---------------	------------	------

Unit Goal : ALTに日本の伝統芸能や伝統工芸を仕事にしている外国人を紹介しよう

紹介する人:

必要な情報	調べて分かったこと (メモ)	調べたことを英文にしよう

※第6時ワークシートの例

第1学年 外国語科学習指導案（第7時）

【③整理・分析 情報を整理させタイ】

1 単元名「Unit 7 Foreign Artists in Japan」（東京書籍 NEW HORIZON English Course 1）

2 本時の計画

目標	日本の伝統芸能や伝統工芸を仕事にしている外国人を紹介するために、集めた情報を整理し、紹介文を書くことができる。
探究の過程 整理・分析	集めた情報を整理し、伝えたい内容の順番を考える。

○指導過程

段階	学習活動 ○主な発問・指示 ◆予想される生徒の反応	形態	◎指導上の留意点	
			T1	T2 (ALT)
導入 5分	<p>1 挨拶をする。</p> <p>2 復習を行う。</p> <p>○ある人物を紹介するために、メモを参考にして、ペアで紹介し合いましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><メモ></p> <p>1. 名前：()</p> <p>2. 職業：()</p> <p>3. 出身地：()</p> <p>4. 特徴：()</p> </div>	一斉 一斉 ↓ ペア	◎ペア活動の前に全体で既習事項を確認させる。 ◎大事な情報はどこかを確認し、強弱を付けて発音できるようにする。	◎既習表現を使い、体調、日付、曜日、天気を尋ねる。 ◎全体では、生徒に発音をさせてから、正しい表現を確認させる。また、強勢の位置に気を付けて発音させる。
展開 40分	<p>3 本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; width: fit-content;"> <p>集めた情報を整理して、紹介文を書こう。</p> </div>	一斉	◎本時の学習の見通しを持たせる。 ◎「整理」を以下のように捉えさせる。 ・集めた情報を紹介文に使うものとそうでないものに分ける。 ・伝えたい内容の順番を考える。	



	<p>4 情報を整理する。</p> <p>○集めた情報から紹介文に使う情報を選び、文の順番を考えましょう。</p> <p>○紹介文の内容や順番を比べてみましょう。</p> <p>○参考になった点についてメモを取りましょう。</p> <p>◆Do you know him?と聞き手に質問する文を使っている。 →聞き手を話に引き付けることができる。</p> <p>◆It's beautiful.という自分の気持ちを述べている。 →分かりやすく伝えたいという思いが伝わる。</p> <p>◆I want to see her someday.と自分の考えを述べる文を使っている。 →学習を通して、調べた外国人に興味を持ったことが伝わる。</p> <p>5 紹介文を書く。</p> <p>○整理した情報を基にして、紹介文を書きましょう。</p>	<p>個別</p> <p>↓</p> <p>グループ</p> <p>↓</p> <p>全体</p> <p>個別</p>	<p>整理・分析</p> <p>◎前時に使ったワークシートを使って、紹介文の構成を考えさせる。</p> <p>◎グループ活動の目的を明確に伝える。</p> <p>◎机間指導をしながら、全体で共有させたい生徒の考えを発表させる。</p> <p>◎共有した文の効果を考えさせる。</p> <p>◎学習活動5で参考になったことを紹介文に取り入れてよいことを伝える。</p> <p>◎構成に困っている生徒には、これまで学習した英文の構成を参考にして書くよう声を掛ける。</p>	<p>◎活動に困っている生徒に声を掛ける。</p> <p>◎机間指導でスペルや語順に気を付けて書くように声を掛ける。</p> <p>◎英語の表現の仕方に困っている生徒を支援する。</p>
<p>終 結 5 分</p>	<p>6 振り返りを行う。</p> <p>○今日の学習を振り返りましょう。また、次の時間学びたいことをワークシートに書きましょう。</p> <p>7 挨拶をする。</p>	<p>個別</p>	<p>◎ねらいに沿った振り返りを書かせる。</p>	<p>◎次時の発表を楽しみにしていることを伝える。</p>

第1学年 外国語科学習指導案(第8時)

【④まとめ・表現 相手意識を持った表現活動をさせたい】


1 単元名「Unit 7 Foreign Artists in Japan」(東京書籍 NEW HORIZON English Course 1)

2 本時の計画

目標	A L Tに日本の伝統芸能や伝統工芸を仕事にしている外国人を紹介することができる。
探究の過程 まとめ・表現	聞き手に分かりやすい表現を考える。

○指導過程

段階	学習活動 ○主な発問・指示 ◆予想される生徒の反応	形態	◎指導上の留意点	
			T 1	T 2 (A L T)
導入 3分	1 挨拶をする。 2 本時のめあてを知る。	一斉 一斉	◎本時の学習の見通しを持たせる。	◎既習表現を使い、体調、日付、曜日、天気を尋ねる。
日本の伝統芸能や伝統工芸を仕事にしている外国人について、A L Tに分かりやすく紹介しよう。				
展開 42分	3 発表練習をする。 ○ペアで聞き合い、内容や発音を確認し合いましょう。 4 教師のモデル文を聞き、相手に分かりやすく伝えるための表現を考える。	ペア ア 一斉	◎分かりづらい語句や表現を確認させる。	◎発音の仕方に困っている生徒に声を掛ける。
Look at this picture. Do you know him? He's a taiko performer. Taiko is a Japanese drum. His name is				
○先生の発表を聞いてどう思いましたか。これまでの学習から学んだことを思い出して考えてみましょう。 ◆最後に名前を紹介していた。 ◆疑問文の文末が下がっていた。 ◆聞こえにくい言葉があった。 ◆一文ごとの区切りが聞きにくかった。 ○発表では、どのような工夫が大切ですか。 ◆最初に名前を紹介する方がよい。 ◆相手に問い掛ける時は、間を取る。 ◆アイコンタクトを取る。		◎意図的に聞き手に分かりにくい発表をする。 ◎これまでの発表や音読で大切にしていたことを想起させる。 ◎生徒が発言したことを、「分かりやすく表現するためのポイント」として板書する。		◎T 1の発表の仕方では、よく伝わらないと感想を述べる。

	<p>5 発表練習をする ○ペアで聞き合い、内容や発音を確認し合いましょう。</p> <p>6 ALTに日本の伝統文化を仕事にしている外国人を紹介する。</p>	<p>ペア</p> <p>一斉</p>	<p>◎「分かりやすく表現するためのポイント」を意識して練習させる。</p> <p>まとめ・表現 </p> <p>◎「分かりやすく表現するためのポイント」を意識して発表させる。</p>	<p>◎発音の仕方に困っている生徒に声を掛ける。</p> <p>◎生徒の発表を聞く。</p>
<p>終 結 5 分</p>	<p>7 振り返りを行う。 ○今日の学習を振り返り、学んだことをワークシートに書きましょう。</p> <p>8 挨拶をする。</p>	<p>個別</p>	<p>◎今後の学習に生かせるように、発表から学んだことを記録させる。</p> <p>◎本時を振り返り、生徒のよかったところを褒める。</p>	<p>◎生徒の発表でよかったところを褒める。</p>